

も く じ

<u>利用にあたって</u>	3
<u>授業での活用例</u>	4
<u>名古屋港内及び周辺施設の問合せ先 (本紙表紙)</u>	5
<u>ガーデンふ頭の様子 (本紙 1 ページ)</u>	8
<u>金城ふ頭の様子 (本紙 2 ページ)</u>	12
<u>外国から名古屋港へ運ばれてくるもの</u> <u>名古屋港から外国へ運ばれていくもの (本紙 3～4 ページ)</u>	14
<u>奥田助七郎のかつやく (本紙 5 ページ)</u>	16
<u>名古屋港のあゆみ (本紙 6 ページ)</u>	19

利用にあたって

冊子「わたしたちの名古屋港」は、児童とともに先生方にも名古屋港への興味や理解を深めてほしいとの願いをもって編集した。

この冊子では、港の案内役として名古屋港のお知らせ隊長「ポータン」と「ミータン」を登場させた。

児童に親しみやすいこのキャラクターのコメントを通して、分かりやすく港の知識を学べるよう編集している。

【ミニ知識】名古屋港のお知らせ隊長「ポータン」「ミータン」



ポータン

ミータン

名古屋港のお知らせ隊長として、楽しく港の重要性をアピールするマスコットキャラクター。

開港100周年記念事業の一環として、デザイン、名称ともに公募により決定した。

「ポータン」は平成18年、名古屋市(港区)に特別住民登録されている。地域に親しまれる港を目指してPR活動を行っている。

授業での活用例

○社会科学習での資料としての活用

この本は「わたしたちのきょうど」の単元「発展してきた名古屋港」(11～12月)を学習する際の資料として活用できるようにした。

●名古屋港の建設と奥田助七郎・・・本紙P5

名古屋港の開発のために努力した奥田助七郎の考えや行動を4コマ漫画でつかむことができる。

●名古屋港の移り変わり・・・本紙P6

「名古屋港のあゆみ」から、その発展の様子に気付くことができる。

○名古屋港に出かける社会見学での活用

名古屋港やその周辺を学習する際にも、写真や資料を活用することで、見学の視点づくりや名古屋港への興味付けを図ることができる。

本紙表紙

名古屋港内及び周辺施設の問合せ先



(図 A-1) 愛知弥富野鳥園 TEL : 0567-68-2338

名古屋港西部伊勢湾沿岸の海拔 0~4mの平坦地にあり、本館内にある展望室の大型双眼鏡で眺めると、野鳥の生態が細かく観察できる。

(図 A-1) 名古屋港サイクリングロード TEL:090-7674-7074(富浜緑地内自転車貸出所)

愛知県弥富野鳥園の東から南にかけて往復で全長約 18kmのサイクリングロードがある。自転車は富浜緑地で借りることができる。

(図 A-3) 藤前干潟活動センター TEL : 052-309-7260

藤前干潟の自然とふれあうことができる施設。干潟で暮らすカニやアナジャコなどの生きものに直接ふれあう体感学習をすることができる。(体感学習希望者は申し込みが必要)

藤前干潟がラムサール条約に登録されるまで

伊勢湾の奥部にはかつて多くの干潟があったが、埋立てや干拓により多くの干潟が失われてきた。藤前干潟の一部も名古屋市のごみ処分場として埋め立てることが計画されたが、自然保護の流れに応じ、市民運動と行政の最終判断によって計画は中止され、干潟を守っていくことが決められた。

その後、環境省は藤前干潟を国指定鳥獣保護区特別保護地区に指定し、埋立て、干拓、工作物の設置などを制限することによって干潟を守っていくことにした。そして、この干潟が渡り鳥の中継地として国際的にも重要であることから、ラムサール条約の「国際的に重要な湿地」に登録された。(名古屋市ホームページより抜粋)

(図 A-3) 名古屋市野鳥観察館 TEL : 052-381-0160

館内に設置されている 30 台の望遠鏡から、庄内川河口に広がる干潟に渡来する数多くの野鳥の生態を観察することができる。

(図 A-3) 稲永ビジターセンター TEL : 052-389-5821

渡り鳥の生態や藤前干潟の環境保全について学ぶことができる施設。干潟を見ながらくつろげるウッドデッキもある。

(図 A-4) ガーデンふ頭 TEL : 052-654-7000 (ガーデン緑園総合案内所)

水族館、ポートビル、南極観測船ふじ、ポートハウス(無料休憩所)、世界各国原産の樹木を植えた展示林、広場、駐車場などが整備され、市民の憩いの場となっている。

(図 A-4) 名古屋港水族館 TEL : 052-654-7080

南館と北館の2つの施設からできており、日本最大のプールを有する。動物の生態を生息環境などととも紹介している。

(図 A-4) 名古屋港ポートビル(名古屋海洋博物館) TEL : 052-652-1111

3・4階には名古屋海洋博物館があり、7階の展望室からは名古屋港を一望することができる。

(図 A-4) 名古屋港シートレインランド TEL : 052-661-1520

子供から大人まで楽しめるレジャーランド。高さ85mの大観覧車は一周約15分。伊勢湾から遠くは鈴鹿山脈までの景色を楽しめる。他にも15のアトラクションがある。

(図 A-4) 名古屋税関 税関広報展示室 TEL : 052-654-4008 (税関広報広聴室)

ワシントン条約で国際取引が規制されている物品、偽ブランド商品を展示、密輸の手口や税関の歴史などを紹介している。

(図 A-4) **港北公園** TEL : 052-661-1581 (名古屋市港土木事務所)

港区役所・防災センターに隣接して東西に細長く伸びている公園である。公園内には、新田開発の功労者、津金文左衛門の頌徳碑がある。

(図 B-3) **Megrass Garden Nagoya (メグラスガーデン ナゴヤ)** TEL : 052-870-6650

宿根草や球根等の多年草をメインに使用したサステイナブルな植栽で、四季折々の木々や草花の変化が楽しめる庭園施設。近年の異常気象やSDGsにも対応したガーデン。2026年4月オープン。
※1 : 当施設は中部電力株式会社の地域共生施設です。(旧施設名称:名古屋港ワイルドフラワーガーデン ブルーボネット)

※2 : 宿根草とは、多年草の中でも生育できない時期には株元の芽や地中の根を残して地上部が一時的に枯れ、生育に適した時期になると再び新芽が出てくるものを言います。本施設では個性豊かな多品種の宿根草を植栽しています。

(図 B-3) **名港トリトン** TEL : 0120-922-229 (NEXCO 中日本お客さまセンター)

名古屋港を横断する名港トリトン(名港東大橋・名港中央大橋・名港西大橋)は、世界トップクラスの規模を誇る3つの斜張橋である。

(図 B-3) **リニア・鉄道館** TEL : 052-389-6100

東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまで39両の実物車両を展示。シミュレータや鉄道ジオラマなどもあり、鉄道のしくみや歴史を楽しく学ぶことができる。

(図 B-4) **ガスエネルギー館** TEL : 052-603-2527

「地球温暖化とエネルギー」をテーマに環境とエネルギーの関わりについて、見てふれて、楽しく学べる東邦ガスの展示館(校外学習は予約が必要)。

(図 C-2) **知多火力発電所** TEL : 0562-55-1181

知多火力発電所は、LNGを使って発電しており、排気再燃式コンバインドサイクル方式という全国的にも珍しいタイプのガスタービン発電設備が設置されている。

また、既設1~5号機(合計出力:311.2万kW)を廃止し、既設1~4号機の一部を撤去した跡地に、新たに7、8号機(出力:各65.99万kW)を建設予定している。

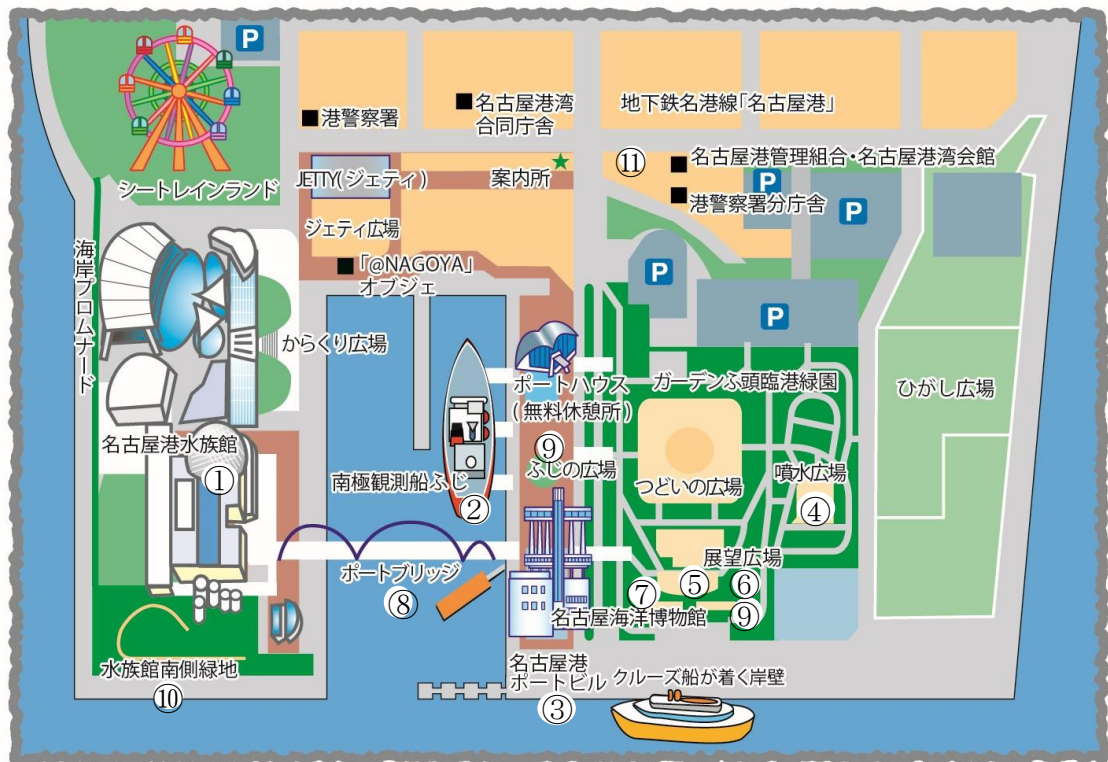
(図 D-1) **新舞子マリンパーク** TEL : 0562-56-3980

名古屋港最南端の人工島「南5区」に整備された公園施設。延長約400mの人工海浜「ブルーサンビーチ」や魚釣り施設、ファミリースポーツ広場などが整備されている。

本紙1ページ

ガーデンふ頭の様子

ここではガーデンふ頭に社会見学等で訪れた際に、知っておくと便利な各施設を紹介する。児童が各施設を探して回る「オリエンテーリング」などを企画するのも一案である。



①名古屋港水族館

名古屋港水族館は“生命の尊さや環境の問題などを理解してもらおう”との願いのもとに建設され、平成4年(1992年)に南館が、平成13年(2001年)に北館が開館した。

南館は「南極への旅」を展示テーマに、「日本の海」「深海ギャラリー」「赤道の海」「オーストラリアの水辺」「南極の海」の生物や環境を、より自然に近い姿で紹介している。

南極の海では気温・水温などを生息環境に近づけて飼育展示をしている。

北館は「35億年をはるかなる旅～ふたたび海へもどった動物たち～」を展示テーマに、シャチ、バンドウイルカ、ペルーガといった海棲ほ乳類の躍動感を十分に楽しみながら見ることができる。

また、生物保護や種の保存にも力を入れており、別棟の「カメ類繁殖研究施設」で行わ

れているウミガメのふ化・育成などの研究は、世界的にも注目を集めている。水族館は教育施設としての役割も担っており、小学生とその保護者を対象に、水族館体験スクール「君もドリトル先生になれるか!」などの体験学習プログラムが実施されている。

令和2年(2020年)には、常設の環境教育ルーム「エコ・アクアリウム～海の未来を考えよう!～」を開設。海岸に漂着したウミガメの胃の中から取り出したプラスチックごみや、愛知県下の海岸で採集したマイクロプラスチックの実物展示などを行い、環境保護の啓発に努めている。

②南極観測船ふじ

「ふじ」は、二代目の南極観測船として昭和40年(1965年)に造られた砕氷船である。昭和58年(1983年)、その役割を「しらせ」に譲った後、昭和60年(1985年)からガーデンふ頭に係留され、南極の博物館として生まれ変わった。南極の自然、南極観測の歴史や意義、成果について映像やパネルで紹介している。

③名古屋港ポートビル

昭和59年(1984年)に完成した地上63mの白い帆船をイメージした建物で、ガーデンふ頭のシンボリックな建物である。ここには、海洋博物館や展望室などがある。

最上階にある展望室は名古屋港を一望できるほか、遠くにはJRセントラルタワーズや東山スカイタワーも見ることができる。

3・4階にある海洋博物館は、「日本一の国際貿易港・名古屋港」をテーマに、分かりやすく伝える展示と、船やクレーンの操縦ができるシミュレータを導入した体験型の博物館である。

④噴水広場

展望広場東側にある名古屋港の地形をかたどった噴水池のある広場。ここにあった古い岸壁で実際に使われていた、船をつなぎ止めておくボラードもある。

⑤展望台

展望広場から灯台風のらせん階段を登ると展望デッキになっており、遠くを見渡すことができる。ここにはガーデンふ頭の前身、中央ふ頭時代に建っていた灯台の先端が残されている。

⑥モアイ像

展望広場南東緑地にある「モアイ像」は、平成元年(1989年)の世界デザイン博覧会時に設置された。チリのイースター島の歴史的な文化遺産として有名なモアイ像だが、こちらのモアイ像は「信楽焼」(セラミックス)で目がついたもの。高さ3m50cm。

⑦マーメイド像

展望広場花壇にある「リトルマーメイド」。高さ95cmで、アンデルセンゆかりの地デンマーク・コペンハーゲンの港にある「人魚姫の像」の1/2の大きさ。デンマークで鑄造されたブロンズ製。こちらもデザイン博の時に設置された。海・ポートビルを背景とし、ガーデンふ頭のおすすめのフォトスポット。

⑧ポートブリッジ

ポートビルと水族館とを結ぶポートブリッジ。デザイン博開催の平成元年(1989年)6月に、全長190m、幅5m、展望スペースもある橋として完成。空にかかる5つの水色のアーチは、5大洋を表現している。ポートビル側と水族館側にはエレベーターも設置されている。

⑨プロペラ(スクリュー)と雪上車

ふじの広場に、南極観測船ふじ[※]で実際に使われていたプロペラ(右舷側)といかりが展示してある。プロペラの直径は4m90cm。プロペラの横に中型雪上車が展示されている。この雪上車は、南極大陸で約20年間、昭和基地を拠点に、人員・物資輸送や内陸調査に活躍した。また、もう片方のプロペラ(左舷側)は、展望広場南側に展示してある。

※「南極観測船ふじ」は昭和40年(1965年)から昭和58年(1983年)まで航行。全航行距離は68万km。

⑩水族館南側緑地・海岸プロムナード

水族館南側緑地は、芝生の広がる小高い丘の広場である。ここでは、季節ごとに色々な花を楽しむことができ、遠くは名港トリトンや大型船を望むことができる。また、昭和30年(1955年)から平成6年(1994年)まで使用していた旧サイロは、今はモニュメントとして保存され、使用していた当時の中の様子を見ることができる。

水族館南側緑地から北に延びる約600mのプロムナードでは、潮風を感じながら散策ができる。

⑪奥田助七郎氏の像

港づくりに一生をささげた名古屋港の生みの親、奥田助七郎の像。奥田の功績を称えるため昭和32年に建立された。港づくりに反対する人々の認識を変え、名古屋港を大きな船が入れる港にするために尽力した奥田だが、じっと名古屋港を見つめるその目からは意志の強さを感じることができる。

〈名古屋港で行われた主なイベント〉(令和7年度実績)

○海の日名古屋みなと祭(7月)

神楽揃え・総おどり・花火大会

○「NAGOYA PORT WINTER ILLUMINATION」(12月)

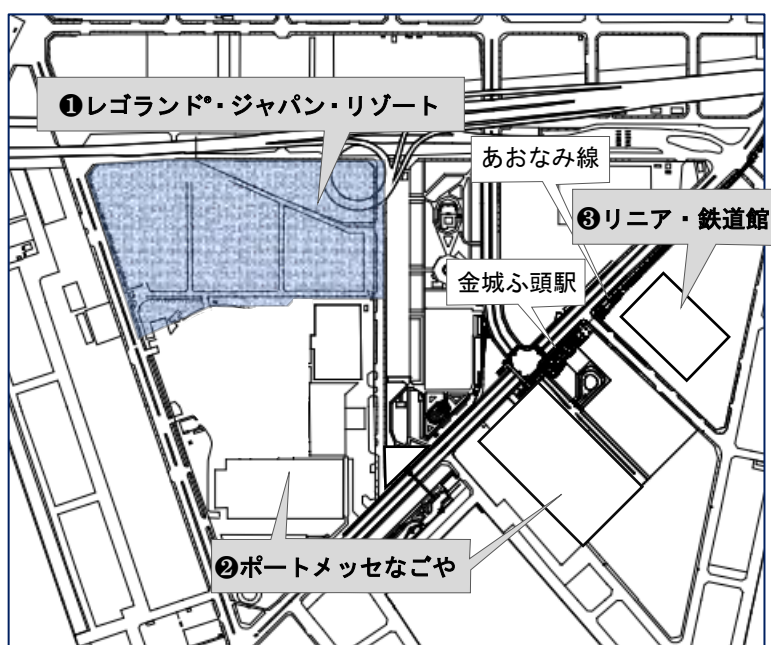
「冬コス2025」オンラインフォトコンテスト

○ウェルカムポートフェスタ2025(3月)

お笑いライブ・ヒーローショーステージ

本紙2ページ

金城ふ頭の様子



①レゴランド®・ジャパン・リゾート

平成29年(2017年)4月、世界中で人気の玩具レゴ®ブロックを使用したテーマパーク「レゴランド®・ジャパン」が開業。2歳から12歳までの子供をターゲットにしたテーマパークで、40以上のアトラクションやショー、シアター、飲食施設、ショップがある。名古屋や日本各地の有名な建造物や風景を約1,000万個のレゴ®ブロックで再現したミニランドなど、地域ならではの特徴も加味されている。

平成30年(2018年)4月には、「見て、さわって、学んで」体験できる水族館「シーライフ名古屋」と、「レゴランド®・ジャパン・ホテル」が相次いでオープン。テーマパーク、ホテル、水族館を含めたレゴランド®・ジャパン・リゾートとしてグランドオープンしたことにより、新たなにぎわい拠点として生まれ変わった。

②ポートメッセなごや

中部地区最大規模の国際見本市会場として、昭和48年(1973年)に誕生。令和5年(2023年)11月に開業50周年を迎えた。

第1展示館は、日本最大級の無柱空間となる20,000㎡の展示スペースを有し、15,000人が収容できる。

展示館のほか、さまざまな大きさの会議施設も有しており、見本市・展示会、コンサート、講演会など幅広い催事が開催されている。

③リニア・鉄道館

東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまでの39両の車両展示を通じて「高速鉄道技術の進歩」を紹介する施設として、平成23年(2011年)に開館した。

N700系新幹線の運転操作を体感できる新幹線シミュレータ「N700」をはじめとする各種シミュレータ(先着順・有料)や、「鉄道の24時間」をテーマに東海道新幹線沿線などの風景を再現した中で鉄道模型が走る鉄道ジオラマなどがあり、子どもから大人まで楽しむことができる。

外国から名古屋港へ運ばれてくるもの

名古屋港へは、次のようなものが多く輸入されている。

令和 6 年輸入貨物主要品種別表

順	輸入品種別 (参考：主な用途)	数量 (トン)	構成比 (%)	主要輸入国 (地域を含む)
1	LNG (液化天然ガス) 注 (火力発電)	13,705,136	20.3	オーストラリア、アメリカ、マレーシア
2	鉄 鉱 石 (製鉄)	9,195,384	13.6	オーストラリア、中国、カナダ
3	原 油 (石油)	7,243,792	10.7	サウジアラビア、アラブ首長国、カタール
4	石 炭 (製鉄)	5,477,291	8.1	オーストラリア、カナダ、アメリカ
5	衣服・見廻品・はきもの	2,635,877	3.9	中国、ベトナム、ミャンマー
6	自動車部品	2,232,772	3.3	中国、ベトナム、インドネシア
7	その他化学工業品	1,829,483	2.7	中国、台湾、タイ
8	電気機械	1,769,040	2.6	中国、ベトナム、タイ
9	輸送用容器	1,591,970	2.4	中国、アメリカ、タイ
10	とうもろこし	1,417,812	2.1	アメリカ、ブラジル、インド
	その他	20,373,204	30.3	
	合計	67,471,761	100.0	

※表記は国土交通省港湾統計による

※中国のうち香港の数値については、統計上、別集計している

注 天然ガスを-162℃という超低温に冷却・液化したもので、火力発電の燃料や都市ガスの燃料に用いられる

本紙4ページ

名古屋港から外国へ運ばれていくもの

名古屋港からは、次のようなものが多く輸出されている。

令和6年輸出貨物主要品種別表

順	輸出品種別	数量(トン)	構成比(%)	主要輸出国(地域を含む)
1	完成自動車	19,426,870	44.6	オーストラリア、アラブ首長国、ベルギー
2	自動車部品	8,111,500	18.6	アメリカ、中国、タイ
3	産業機械	2,949,166	6.8	アメリカ、中国、オランダ
4	鋼材	1,978,228	4.5	タイ、インドネシア、中国
5	その他化学工業品	1,800,102	4.1	中国、台湾、アメリカ
6	ゴム製品	1,386,499	3.2	アメリカ、アラブ首長国、カナダ
7	非金属鉱物	956,682	2.2	オーストラリア、台湾、韓国
8	化学薬品	661,384	1.5	中国、台湾、アメリカ
9	電気機械	657,125	1.5	中国、アメリカ、ベトナム
10	輸送用容器	656,735	1.5	ベトナム、中国、フィリピン
	その他	4,960,245	11.5	
	合計	43,544,536	100.0	

※表記は国土交通省港湾統計による

※中国のうち香港の数値については、統計上、別集計している

本紙5ページ

奥田助七郎のかつやく

●名古屋港の生みの親・奥田助七郎

明治6年(1873年)、京都に生まれる。同33年(1900年)、京都帝国大学を卒業後、土木技師として愛知県庁に入る。以後40年間にわたり名古屋港発展のために尽くしてきた。明治29年(1896年)に着工された築港工事にも参加、第2期から第5期工事まで計画の策定などに関与した。著書に「名古屋築港誌」がある。

5ページのイラストは平成8年度制作の社会教育用ビデオ「みなとからの贈り物」からの抜粋である。(※ビデオは制作時に名古屋市、東海市、知多市、弥富町(当時)、飛島村の全小学校及び図書館などに配布されている。)

●ろせった丸入港(イラスト補足)

1	<p>当時の熱田湾は、水深1mあるかないかの浅い海。葦が生い茂り沼地のような状態であった。そのため、大きな船が入ることができず、四日市や武豊で、小さな船や鉄道に荷物を積みかえて運んでいた。国内や外国との物や人の行き来がさかんになると、名古屋が取り残される危機感があった。こういった背景から、明治29年(1896年)に名古屋港開発という巨大プロジェクトが動き出した。</p> <p>しかし、浅い海に港を築造した例は国内に少なく、大きな船が入れる港を整備するには多額の費用がかかるため、税金の無駄遣いということで、世論は工事反対の声が圧倒的であった。</p>
2	<p>この状況を救ったのが、奥田助七郎である。</p> <p>明治39年(1906年)9月、報知新聞社は、ろせった丸を使って全国の主要な港を回る巡航博覧会を開いた。当初は、武豊港から四日市港へに行く予定であり、造成中であった名古屋港への寄港の予定はなかった。工事担当の奥田助七郎は、築港工事の進み具合をろせった丸入港で世間に具体的事実として示したいと考え、報知新聞社へ交渉をした。しかし、巡航予定は決まっているし、整備不十分であることを理由に、寄港はなかなか実現しそうもなかった。</p>
3	<p>それでも、助七郎は粘り強く交渉を続け、助七郎が水先案内をするという条件で、ろせった丸の船長から許可をもらい、9月29日に寄港させた。</p>
4	<p>接岸する2号地前の鉄棧橋には、どこから聞き付けたのか、たくさん見物人が海岸をうめつくした。</p>

ろせった丸は、水面から船底まで5.1mであり、名古屋港の航路は深さ5.4mであった。船底と海底の差が30cm程度という非常に危険な入港であったが、無事入港することができた。観衆は口々に万歳を唱え、大変に喜び、博覧会も十数万人(当時の名古屋市の人口は30万人ぐらい)を集めて成功を収めた。

この事実は、名古屋市民に港の重要性を認識させ、今まで築港に反対してきた人々を賛成者に変えてしまった。これが今日の名古屋港発展のスタートとなった。

【ミニ知識】ろせった丸は、どんな船？

- ・鉄製貨客船
- ・3,876総トン
- ・最高速力14ノット(時速26kmぐらい)
- ・全長122m
- ・幅12.2m
- ・1880年英国で製造

(出展:「ろせった丸航海略年表」阿部邦夫編)

当時は「活ける博覧会・動ける観商場(見本市)」のうたい文句で、船内には161か所の出品場所があった。

また、現在、観光クルーズが脚光をあびているが、この船が日本初のクルーズ客船として日清・日露戦争の戦跡を回った経緯があるのも非常に興味深い。

【ミニ知識】日本の港の「開港」

明治40年(1907年)に開港した名古屋港。安政6年(1859年)「長崎、横浜、函館」の開港から約半世紀後、国内では34番目の開港だった。

日本には現在993の港湾があり、国際戦略港湾[京浜港(東京港、横浜港、川崎港)及び阪神港(大阪港、神戸港)]、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾に分類される。名古屋港は国際拠点港湾である。

日本の主要港の開港年

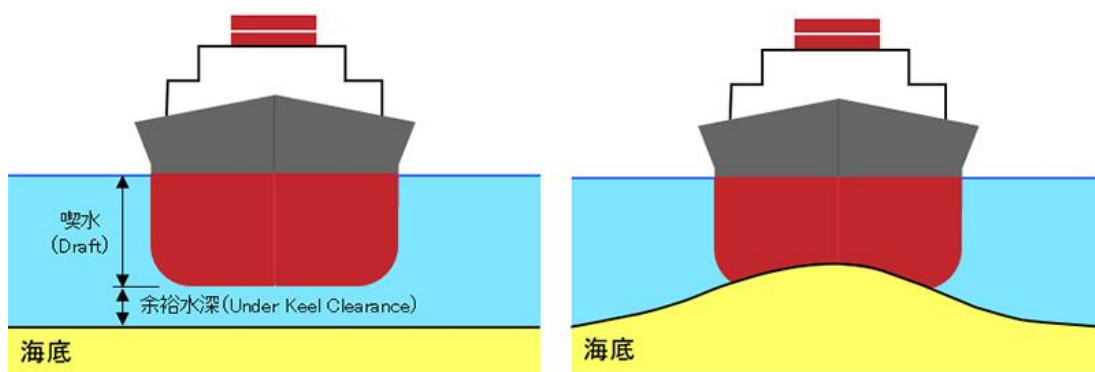
港名	開港順位	年
横浜港	1	安政6(1859)年
神戸港	4	慶応3(1868)年
大阪港	5	明治元(1868)年
四日市港	7	明治32(1899)年
名古屋港	34	明治40(1907)年
東京港	42	昭和16(1941)年

【ミニ知識】浚渫(しゅんせつ)とは

浚渫工事とは、海底の土砂を取り除く工事のこと。

航路(海の道)や泊地(海の駐車場)を安全に利用するには、船の底が海底にぶつからないだけの水深が必要になる。

浚渫工事を行うことで、今までより大きい船が通れるように、水深を深くし、土砂が堆積(海流で流れてくるなど)して浅くなった箇所の土砂を取って、船が安全に通れるようにする。



(引用) 高松港湾・航空事務所 浚渫作業の紹介より

本紙6ページ

名古屋港のあゆみ

名古屋港は1907年(明治40年)に開港した、約120年の歴史を持つ港である。

近年、経済のグローバル化や、アジア地域の急成長を背景に、日本の産業や貿易構造は大きく変化しており、国際海上輸送網の一翼を担う名古屋港も、世界の港と効率的な海運ネットワークを構築するため、様々な変化が求められている。

名古屋港管理組合では、平成27年12月に、平成30年代後半を目標年次として名古屋港港湾計画を改訂した。

港湾計画の概要

●コンテナ基地

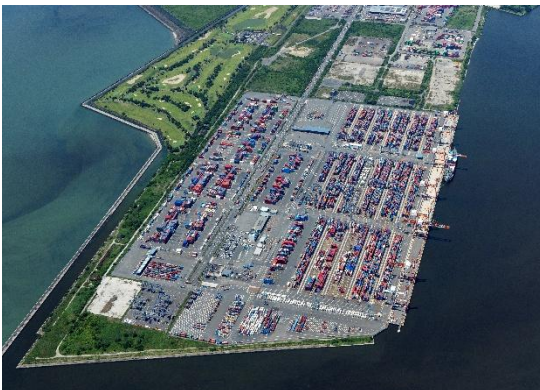
名古屋港には、現在、飛島ふ頭(飛島村)と鍋田ふ頭(弥富市)にコンテナターミナルがあるが、将来のコンテナ貨物の増加や、年々進むコンテナ船の大型化に対応できるよう、今あるコンテナターミナルの改良や新しい岸壁を整備することを計画している。



飛島ふ頭(飛島村)



飛島ふ頭将来イメージ



鍋田ふ頭(弥富市)



鍋田ふ頭将来イメージ

●完成自動車・クルーズ船

自動車を輸送する船の大型化への対応や、港で完成自動車を保管しておくための用地を拡充することを計画している。

また、地域の活性化や交流の促進に向け大型クルーズ船の寄港に対応できるように岸壁を整備することを計画している。



金城ふ頭 (名古屋市)

金城ふ頭将来イメージ

【ミニ知識】 物流機能強化への取り組み

名古屋港には5つのコンテナターミナルがある。

コンテナターミナル	岸壁	供用開始年	総延長(m)	水深(m)	主な利用航路
①飛島ふ頭北コンテナターミナル	90	昭和 57 年	6 2 0	1 0 ~ 1 2	北米西岸や シンガポール
	91	昭和 53 年			
	92	昭和 59 年			
②NCB コンテナターミナル	R1	令和 4 年	9 0 0	1 5	シンガポールや バンコク
	R2	昭和 47 年		1 2	
	R3	昭和 58 年			
③飛島ふ頭南コンテナターミナル	93	平成 9 年	7 0 0	1 5	バンコクや インドネシア
	94	平成 3 年			
④飛島ふ頭南側コンテナターミナル	TS1	平成 20 年	7 5 0	1 6	北米・欧州や シンガポール
	TS2	平成 17 年			
⑤鍋田ふ頭コンテナターミナル	T1	平成 9 年	7 0 0	1 4	中国や韓国
	T2	平成 13 年			
	T3	平成 24 年	2 8 5	1 2	

物流機能強化の取組状況

② : R1 岸壁、R2 岸壁を対象に、平成 29 年度から、船舶の大型化に対応するため岸壁を増深(水深 12m→15m)、耐震化する工事を実施。R1 岸壁は、令和 4 年 9 月に工事が完了し、現在 R2 岸壁の工事に取り組んでいる。

※水深 15m は 5 階建てマンションに相当。全国で最も水深の深い岸壁は、横浜港の南本牧ふ頭の 18m。

⑤ : 国内の港湾では、人が乗り込み直接操作する RTG (タイヤ式門型クレーン) が主に使用されているが、労働環境の改善や生産性の向上を図るため、快適な環境の管理棟内から操作可能な遠隔操作 RTG を導入した。

